

西日対策に有効なロングフード付カメラハウジング

車掌用ITVソリューション

車掌用カメラハウジング(ロングフード)

お客様の課題

- 西日の影響でカメラ映像が見えづらくなる時がある。
- 夜間外灯の光が影響してカメラ映像が白っぽい。
- カメラ交換後、日中は改善されたが冬の夕方のみ見えづらくなる時がある。

お客様へのご提案

- 西日対策には車掌用カメラ専用ロングフードをご提案します。(TK-HD9701+MV13VG850IR-JVCレンズの横設置、縦設置に対応)
- カメラハウジングの前面ガラスが多少汚れていても効果を発揮します。
- カメラレンズの画角に応じてロングフードの長さが調整できます。
- 設置・保守作業がしやすい両開きタイプのカメラハウジングに対応しています。(KS-4001SOシリーズ)

※ロングフードの効果をj得るためには、設置位置の再検討が必要な場合があります。

システム概要

逆光時になぜ映像が見えにくくなるのか(カメラハウジング)

太陽光がカメラハウジングの前面ガラスにあたると以下の現象が起きます。

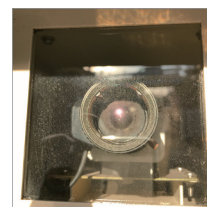
- ①カメラハウジングの前面ガラスの汚れが光り反射します。(画面全体が白っぽくなる)
- ②カメラレンズ内で乱反射を起こし「フレア」、「ゴースト」などが発生し映像のコントラストが低下します。



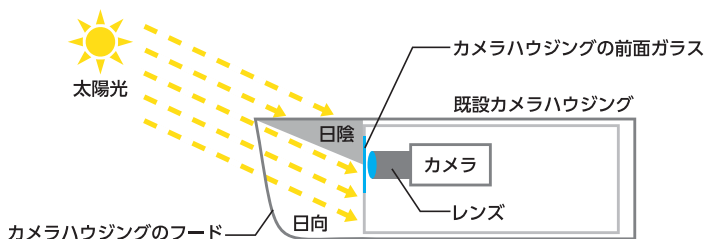
カメラハウジング
(西日が当たっている)



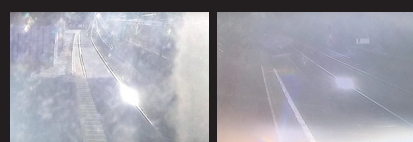
カメラハウジングの
前面ガラスの汚れ



カメラレンズまで
光が当たっている



施工前



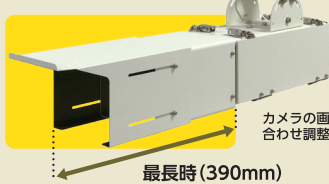
施工後



ロングフード装着時



最短時(290mm)



最長時(390mm)

カメラの画角に
合わせ調整します

●記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。 ●仕様および外観は、予告なく変更することがあります。 ●画面はハメコミ合成です。